

弓道ながの

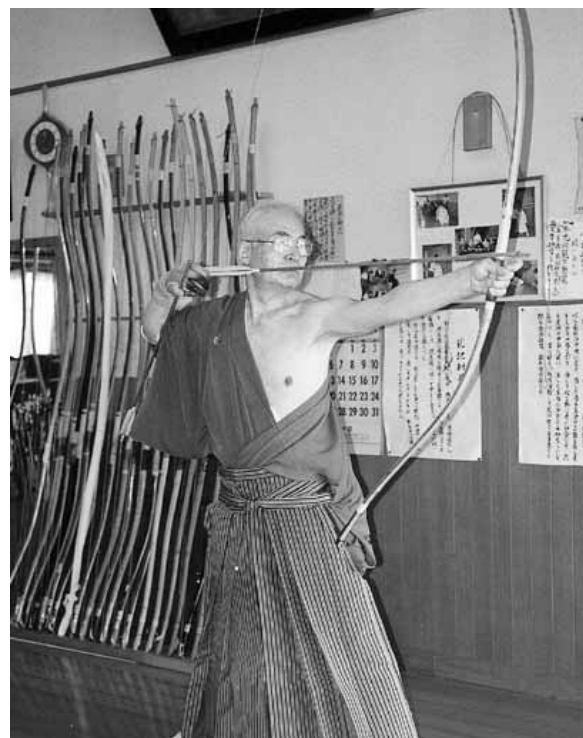
第26号

発行：長野県弓道連盟
会長 山川茂樹
〒396-0021
伊那市大字伊那3919-3
TEL0265(72)3060
編集：県弓道連盟
印刷：中央堂印刷社

初心に返って

長野県弓道連盟副会長 清水克也

弓を習いはじめの頃、最初の審査会で『弓道修練の目標について述べよ』と出題された事を想い出す。あれから早や四十有余年が経過した。当時は弓道修練の最終目標は、真・善・美の探求であり、真は「誠」と「正しさ」を求めており、真の弓は偽らないと。善は礼節・和・平常心と云った倫理の道である。美とは真なるもの・善なるものは美しい。この調和を感覚的に高いものを具現化する修養道であると答案に書いた覚えがする。その頃はこの書いたことの真意は殆ど判らずに丸暗記で回答したものである。



の弓は、この修練目標通りに上達してきているのであろうか、逆に下手になってきているのではなからうかと反省している次第である。

ここでもう一度、射法においては射法八節(射法訓)を一から見直し、又精神面については「礼記射義」を読み直し反省の糧としたい。

一、弓道の要諦は至誠と礼節である。人に勝つことより誠実で偽りのない心で稽古に取り組むこと。

二、弓道は体育や、健康ばかりでなく人生をより高く豊かにするものではない。射即人生と云われる通り、日常の驍や、慎み、和敬、克己、反省などの徳目を体得する事が大切である。

三、弓射は真実を探求する。一射毎に真実を探求して精進するものである。最も良く出来たと云われる一射は、「神人の合一」或いは「宇宙と一体」になると云うが、何時このような射が生まれるのやら一生掛かって生まれなかも知れない。現在も哲学的論究、科学的研究、又禅的な研究もされているが、

弓における真とは、弓の冴え、弦音の中に因り立証されているとも云える。

四、弓道の倫理性を指す善があるが、要は人間性、道徳の問題である。不

争の心、相手を敬う気持ち、挨拶等々、日常的なことである。教養、平和、平等など倫理性を追求し弓によって親しみ協調し心的にも平常心を養うことである。弓道を修練することによって教養と、心の豊かさを高め、自己反省をして過ちがあればこれを改めようと考え、偏見や差別を無くし、人との触れ合いが深まり、人と力を合わせる協調性を養ってゆくものである。

五、美については言葉通りで、真なるもの、善なるものは総て美しく芸術文化でも云われるように相手に感動を与える美しさを、高い目標としているのである。

これからは、先ず初心に返って、心・身・弓の調和に努め、正しい心で正射正中が出来るように、日々稽古に励みたいと思っている。

又、射行は流水の如く、残身は開花に似たりの教えのように射品・射格の現れる弓道に近づきたいものである。

第42回全日本弓道大会(中日本の部)

松本市弓道場で開催

6月15日(日)大阪府、京都府、奈良県、三重県、静岡県、岐阜県、愛知県、福井県、石川県、富山県、新潟県、和歌山県、滋賀県、兵庫県、長野県の

参段以上の女子を参加資格とする、全日本弓道大会(中日本の部)が444名の参加者により、新築された松本市弓道場で盛大に開催された。

前回の開催は、平成4年の第27回大会であり、15年ぶりの開催となりました。

大会は、企画・立案・運営まで全て女性が中心で進められ、立派な大会となりました。

大会結果

6月15日/松本市弓道場

参加者 444名

参・四段の部

毛受里奈(愛知県) 滝本美津子

(石川県) 菊池寿美子(長野県)

五段の部

永野美樹子(愛知県) 犬童律子

(静岡県) 高井公子(岐阜県)

称号受有者の部

元永幸枝(愛知県) 米沢美智子

(長野県) 大上雅子(大阪府)

全日本弓道連盟評議員会報告 評議員 外 菌 公 毅

平成20年度定時評議員会が5月30日

東京品川プリンスホテルで行われ、山川会長と出席しました。山川会長は3月まで北信越ブロックの理事でしたが任期切れで4月から福井県弓連の前田会長と交代した関係もあり県弓連も土川副会長に代わり山川会長が評議員になられました。

全弓連の定時評議員会はこれまで5月2日京都で開催されていましたが、この時期までに3月末に年度を締め決算書を作成し、監査を受けて提案できるまでに整えるのは時間的に難しいということで本年度から5月末日になりました。

協議事項の19年度事業報告書、決算報告書の説明があり、承認されましたが、評議員より昨年の国際記念大会の決算報告の詳細がなされていないとの指摘があり、後日書面にて報告がなされることになりました。決算報告書はA4、31ページに亘り、詳細は省略しますが、またかいつまんででも思いましたが、理解と知識に乏しく、概略

の説明も覚束ないのが現状で誠に申し訳ありませんがお許しください。勉強して機会があれば報告します。新役員構成については通常評議員会の報告でありましたが、副会長2名が交代しました。また理事については北信越ブロックを含め3名の交代がありました。日本武道協議会・少年武道優良団体推薦については、昨年の全日本少年武道練成大会の優秀賞及び技能優秀賞から千葉県栗ヶ沢中学校と東京都吉祥女子中学校を推薦した旨の報告がありました。

報告事項として、全弓連60周年記念事業は、あくまでも案の段階であるが、21年10月17日(土)に京王プラザホテルにて式典と祝賀会、18日(日)に中央道場と至誠館で5名による地連対抗戦(錬士、教士、70歳以上、女性、高校生)を行う。また21年12月に60周年記念誌を発行予定との話があった。

全弓連事務局の改革として、中学生武道の必修化などのジュニア対策或いは公益法人化などの事業の多様化で岸記念会館が手いっぱいになってきたことへの対策として分室を設け、ルーチン業務を行うとの報告があった。以上概略を報告します。

松本市弓道場竣工式 落成記念弓道大会

松本弓道会の念願であった、新弓道場が3月23日竣工式を迎えることが出来ました。

松本市弓道場は、東に美ヶ原、西に北アルプスが眺望出来る岳都松本市街地に位置し、一階に近的12人立、二階に遠的6人立の射場と選手控えのロビーも広く、102席の会議室、各設備の整った立派な道場となりました。

竣工式ならびに道場開きには、菅谷松本市長のあいさつに続き、松本弓道会百瀬 正教士による「墓目の儀」山



墓目の儀

川県弓連会長の「巻藁射礼」、松本弓道会長関沢錬士の「矢渡」、会員による一手祝射のおごそかな弓道儀式に、隣りの招待関係者からは暖かいご理解と賛辞をいただき、再度の見学申し込みに嬉しい限りです。

6月1日には、落成記念大会を開催。県弓連名譽会長宮澤範士の「巻藁射礼」、県弓連副会による「四人一つの射礼」に始まり、県下各地からお祝いにかけてくれた250人余で、成功裏に終了しました。



道場開き巻藁射礼(山川会長)

そして、松本市弓道場の柿落しに相応し大きな行事として、6月15日に全日本女子弓道大会(中日本の部)が開催されました。

梅雨季のなか晴天に恵まれ、総勢500人により大会長佐竹範士の矢渡のあと競技もなごやかなうちに全て順調に進み、再会を期して各県の選手の方々をお見送り出来たのも、関係者各位の協力と熱意のたまものと強く思っております。こうして松本市弓道場落成式にかかわる一連の行事も無事に終わり、これからは弓道を愛するより多くの人達に開かれた弓道場を利用していただけることを願っております。

松本弓道会長 関沢喜内



記念大会巻藁射礼(宮澤範士)

**松本市弓道場
落成記念弓道大会**

6月1日/松本市弓道場

参加者 高校100名 一般152名

高校の部

前田洋介(県ヶ丘) 松井優太(深

志) 渡邊研二郎(県ヶ丘) 土屋夕

貴(松商) 森 昇平(県ヶ丘)

一般の部

吉田博行(松本) 松倉 志(長野)

常盤三男(飯伊) 深澤健二(松本)

平松鉄兵(信大)



全日本女子弓道大会(中日本の部)

平成20年度北信越地区指導者講習会に参加して

教士六段 百瀬 正

5月17日、18日北信越地区指導者講習会が金沢市、石川県立武道館弓道場で開かれた。石川、福井、新潟、富山各5名、長野7名合計27名でした。

講師の先生は、岡崎廣志範士、本多政和範士、宮脇保博範士。

第一日目、岡崎先生の矢渡、見事な一文字の離れを、まず目で勉強をしました。

宮脇先生、本多先生により介添の評価と指導があり、その後受講者全員の一手行射、先生方の講評注意点。入場から本座までの運びが狭い、遅い、固い、目が前の人の足を見ている。矢番え動作等が見える。射技面では、大三人への移行が拙い型だけ。打起しより大三が低い。執弓の姿勢手が低い。前にある。親指を伸ばすなにぎれ。離れが別の力の人が多い。胸を開くは、エレベーターの戸が開く様に一直線上を。など注意を受けました。

午後は、岡崎先生の講話があった。弓は、いろいろ積み重なっても最後に離れがある。離れが良ければ、七難隠

す。一本の線上に矢と体がある。伸び合って一文字に、体を開け。離して残身を取るから、色々出る。

弓道は精神格闘技であり、胆錬道である。胆を磨け。とお話の後、喋の使い方を図で説明して下さり、右肘は後ろへ引くな、矢と平行に力が働けば、弦枕が開いてくる。離そうとすると戻る。掛けたまま一文字に離れる。などの講話があった。

午後は、班別射技指導。一ツ的射礼を全員が行い、一日目が終了。

二日目は、本多先生、宮脇先生の一ツ的射礼、質疑応答の他は、終日班別射技指導があり、矢数も多く、大変勉強になり、有意義な講習会であった。



私と弓道

長野支部 長野運動公園弓道クラブ

甘利 岩 男(五段)

職場の弓道愛好者の誘いで、善光寺弓道場を訪ね、故林亮天師(第三代会連会長)の行射を拝見したのが、私と弓道の最初の出会いだったと思います。



その時、不動的」と、自分の心の持ち方」について拝聴した記憶があります。それから四十余年、今日いまだ、気持ち的にとらわれ射に迷いがあります。転勤により県内の範士・教士の先生にご指導いただく好機にめぐまれました。

長野では、故山内成豊先生の力学・骨格のことに触れながらのご指導が心に残っています。

松本の、故百瀬豊先生の息合い・体配の厳しいご指導も印象深い経験でした。

平成十年長野運動公園弓道クラブに入会させていただき宮澤廣範士・大久保秀雄範士・小林義行範士先生方のご指導が受けられる素晴らしさを感じています。

クラブ大久保前会長の挨拶のなかで「弓友、皆師なり」の言葉がありました。今日クラブ会員百余名のみなさんを皆友とし、師として弓道を今後楽しんでいきたいと思っています。

審査会終了後、百瀬豊審査委員長の言葉「五人の入退場・行射、動作・間合いがバラバラだった。事前の打ち合わせをしていない。第一射手の責任である。」四段の重さを感じた審査会でした。仕事の関係で、約二十年弓道空白の後、

女子称号者講習会に参加して

練士六段 鷹野昌子

四月五日、六日の二日間、県営飯田弓道場で、講師に範士八段秋山照美先生をお迎えして、四十二歳から八十五歳の女子称号者三十五名が、受講しました。

第一日目 矢渡後介添評価

知ってるつもり、できてるつもりになりがちである。射手中心であること。射手への気づきがあられること。呼吸をつかう。退がる時、屈体と伸長を、途切れないように行い、最短で戻る。

一手行射の講評、講話

基本重視。先導の足づかい。角をとる時ためない。間伸びしない。開き足の確認。弓道は点(弓手、妻手、丹田)線(足踏み、的の中心と親指、弓と身体、矢と床面)円(円相、弓構え、執弓の姿勢、襷さばき)で成り立っている。女性ならではの心配り、きちんとした着付け、紋にも気配り、肌着が見えない工夫、常に男性の中にいる、という意識。筋力は男性に比べ、十年早く衰えてゆく。骨格、体型、筋力の維持を、心がける。自分は、どういう弓

を引きたいか。どう生きたいか。

基本体の研修

山川県弓連会長にもご指導いただき、歩行練習。入退場、礼、揖、の練習。歩行中の被せ足、引き足はしない。

射技指導

受講生五人一組で、射手、前後、矢のり、ゆがみを見合いました。気づいた点を言ってもらい、お互いの体配射も見て、勉強になりました。

第二日目

二射場で、持ち的射礼、取り懸け、物見返し、原則の間合い、一つの射礼二人、三人、四人の場合。立射礼を各自一回練習し、見取り稽古をしました。一手行動は気迫にあふれた、仕上げになりました。

講師の秋山照美先生は、優雅のうちに、容姿凛然たること。の言葉通りの先生で、疲れを見せられない、二日間でした。短い時間にも思われ、充実感に満たされた講習会でした。このような機会を与えていただいたことに感謝します。練習を重ね、次回を楽しみにしています。



弓仲間紹介

大町弓道会

会長 遠山昌信

昭和63年まで東町にあった三人立の近的道場が大町運動公園に移転して20年となる

今秋、遠的道場が建設されることになりました。当時から会員も多くなかったのに、故千村萬次郎先生は「大きい道場を造ってもらえ」と現道場の見取り図を描きました。隣接の松林も切り払い遠的場を整地してもらい、さらに道場の建設も市に陳情してあったので今回の建設となりました。



5月度例会 筆者前列右端

矢に対するあこがれと畏敬の念が子供の頃から育まれます。

昨年は大町高校から国体に県代表として2名の若武者が出場し大活躍したことが記憶に新しく、今秋の遠的道場竣工により世界平和にも貢献のできる心身の鍛練が備わったさらに多くの弓士を送り出すことでしょう。

現在大北支部の大町弓道会として活動して

ますが、隔月で池田弓道会と研修会を交互に行つて、会員間の交流と親睦を図っています。

会の練習日は月水金の夜7時から9時まで、個人で利用の時は体育館で申し込みいつでも使用することが出来ます。

毎年6月の火木の昼間1時からと水金の夜7時から30時間の弓道教室を計画して、弓道の普及活動を行っています。

会一番の行事は、54回を重ねた大町市制記念県下弓道大会で、今年は8月31日に行われます。優勝旗が「長野県弓道連盟旗」となっているのは県弓連七不思議のひとつでしょうか。

長野県高校総体

6月7日～8日長野運動公園弓道場で、長野県高校総体が開催された。

男子個人(12射)

塚田滉巳(伊那北) 12

中 安藤直貴(須坂東)

12中 宮島凌(上田東)

10中

女子個人(12射)

吉田美都(松商学園)

11中 今井美咲(文大長野)

野)11中 西村柚実(伊那西) 10中

(男女とも1、2位が7

月28日)31日埼玉県川越

市で開催の全国大会に出

場)

男子団体

上田東(手塚暎・宮入

貴文・大平佳慎・西川卓

也・宮島凌・井出健人・

郷津良太) 岩村田 上

田千曲

女子団体 飯田女子

(清水菜美・松村摩友・

梅村恵里花・松村摩衣・

宇佐見昌世・唐澤舞・倉

田千鶴) 下諏訪向陽 文大長野

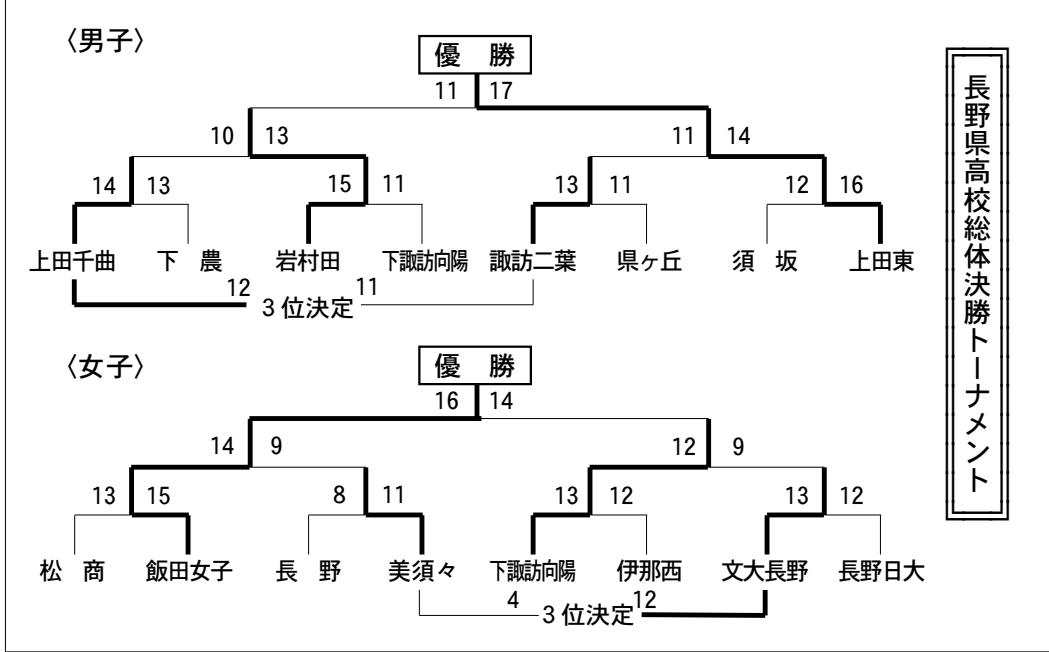
(男女とも1位が7月28日)31日埼玉

県川越市で開催の全国大会に、3位ま

でが6月21日)22日に富山県射水市で

開催の北信越大会に出場)

長野県高校総体決勝トーナメント



勤労者弓道選手権大会

4月13日、駒ヶ根市菅弓道場において開催されました。当日は、正に春爛漫、野辺に若草晴天の下、道場近辺の桜を愛でながらの大会でした。

大会は、山川会長の気合いと充実感のある矢渡から始まり、14チーム(42名)により熱戦が繰り広げられました。

第一回戦は、気合いが入り過ぎたり、緊張したりとなかなか普段の的中を出せない選手もいたようですが、今後大会に数多く参加して、技を磨いてください。

競技部長 大蔵 務

山川茂樹会長 長野県知事より表彰される

山川茂樹会長は、6月6日長野県知事より、スポーツ功労賞を授与された。

山川会長は、長年の功労により過去

平成10年 長野県体育協会会長表彰(有功章)

平成11年 全日本弓道連盟(功労章)

平成12年 日本体育協会公認スポーツ指導者功労

平成13年 長野県教育関係功労者表彰社

会体育功労)

を受賞しております。

団体リーグ戦

1位 長野県信用組合(3勝0敗)

井垣貴夫・吉田博之・佐々木真弥

2位 セイコーエプソン(1勝2敗)

小越 剛・若林淳一・内山喜照

3位 J R長野支社(1勝2敗)

踏分英世・降旗正智・新津一夫

個人

1位 新津一夫(J R長野支社)

2位 内山喜照(セイコーエプソン)

3位 牧内和宏(中電長野A)

(団体上位2チームが6月6日)8日新潟市で開催の全国大会に出場)



知事表彰受賞を伊那市長に報告

長野県弓道近的選手権大会

6月22日、あいにくの雨模様ではありましたが、全日本選手権大会県予選と、本大会は最高レベルの試合ということで、選手の皆さんは気合いに満ちた顔つきで集合してきました。

大会では、男子参段以下の部、男子四・五段の部の決勝では、白熱した戦いで大変見応えのある試合でした。

ちなみの中率は、男子参段以下の部51.0%、男子四・五段の部51.6%、女子四段以下の部43.8%、女子五段以上の部40.0%、称号受有者の部43.0%でした。

競技部長 大蔵務

6月22日/塩尻市弓道場

参加者 97名

〔男子〕

参段以下の部

小笠原裕樹(上伊那)

井口正弘(上伊那)

下島俊明(上伊那)

四・五段の部

手塚信一郎(上伊那)

松井幸彦(安曇)

中村 宏(諏訪)

称号受有者の部

押金 孝(上小)

〔女子〕

四段以下の部

林 玲子(飯伊)

戸田裕子(上小)

丸山真弓(松本)

五段以上の部

松下はるみ(長野)

窪田和恵(大北)

木村由起子(飯伊)

射技優秀賞

下島俊明(上伊那)

亀岡英司(南佐久)

小澤剛志(上伊那)

新津一夫(長鉄)
土屋義雄(中高)



ねんりんピック県大会

兼全国大会予選会

5月24日/長野運動公園弓道場

参加者 39名

県大会

1位 百瀬 稔(松本)

2位 宮川 登(上小)

3位 井堀孝雄(長鉄)

全国大会県代表選手

監督 宮川 登(上小)

選手 百瀬 稔(松本)

宮川 登(上小)

井堀孝雄(長鉄)

木村匡房(飯伊)

水野悦子(飯山)

補欠 横川善一(安曇)

土屋明夫(上小)

第59回全日本男子弓道選手権大会 第41回全日本女子弓道選手権大会

長野県予選会

5月11日/上田城趾公園弓道場

参加者男子41名・女子33名

男子県代表選手

小林 克(松本)

大口晴男(飯山)

寺島信夫(松本)

(全国大会は、10月25日～28日鹿児島県で開催)



宮坂博之(諏訪)

新津一夫(長鉄)

女子県代表選手

降旗奉子(諏訪)

棚田千鶴(長野)

花岡のり子(諏訪)

松澤みさ子(須高)

関島美奈子(飯伊)

(北信越ブロック予選は、7月27日富山県射水市で開催)

第38回北信越高校弓道大会

6月21日、22日、富山県射水市大島弓道場において、北信越高等学校弓道大会が開催され、個人、団体、男女とも長野県勢の活躍が目覚ましかった。

女子団体

- 下諏訪向陽(遠藤さやか・高戸結実)
- 中畑友里・細井美季・米山美由紀
- 酒井里映・末永照美) 飯田女子(清水菜美・松村摩友・梅村恵里花・松村摩衣・宇佐見昌世・唐澤舞・倉田千鶴)
- 文大長野(福島愛理・中村美智・今井美咲・池田梓・山田優衣・松倉美咲)
- 松木彩乃) 鹿西(石川)
- 男子団体

- 新発田(新潟) 羽昨(石川) 上田千曲(山本裕也・中村冬生・狩野裕)
- 原貴司・宮本靖孝・小暮宏幸) 富山第一(富山)
- 女子個人

- 米山美由紀(下諏訪向陽) 高戸結実(下諏訪向陽) 清水菜美(飯田女子)

第59回全日本弓道大会

5月2日、3日/京都市勧業館 有段者の部

- 4位 志村 仁(五段・諏訪)
- 5位 柴 種徳(五段・上伊那)

大分国体代表選手選考会

6月28日、29日/県営飯田弓道場

少年男子

- 安藤直貴(須坂東)
- 齊藤秀和(岩村田)
- 宮島 凌(上田東)
- 補欠 林 義徳(木曾青峰)
- 少年女子

- 岩岡 恵(県ヶ丘)
- 澤田 茜(長野日大)
- 西村 柚実里(伊那西)
- 補欠 佐塚 仁美(岩村田)
- 成年男子

- 中村 宏(諏訪)
- 亀岡英司(南佐久)
- 志村 仁(諏訪)
- 補欠 市川隆光(諏訪)
- 成年女子

- 戸田裕子(上小)
- 高山寿恵(下伊那)
- 栗林 薫(松本)
- 補欠 高地美佐子(上小)

審査合格者

平成20年度推薦 5月1日

- 教士の部 降旗昭雄(諏訪)
- 定期中央審査 5月4日 京都
- 六段の部 堀内英征(上小)
- 井垣貴夫(松本)

練士臨時中央審査 5月6日 京都

練士の部 下平春夫(飯伊)

東海臨時中央審査 5月25日 岐阜

六段の部 相原由美子(小諸)

永島淑子(長野)

練士の部 花岡のり子(諏訪)

信越連合審査 6月1日 新潟

五段の部 林英彦(中高)

北信越地区指導者講習会受講者

5月17日、18日/石川県立武道館

教士七段 小林 克

教士六段 百瀬 正 山浦 博

水野悦子 新津一夫

奥山誠治 宮坂博之

北信越地区女子講習会受講者

6月28日、29日福井県立武道館弓道場

練士六段 降旗奉子 鷹野昌子

半田綾子 久保田智恵

丸山仙子 相原由美子

練士五段 高木涼子

各地大会



第17回駒ヶ根大会

4月6日/駒ヶ根市弓道場

参加者 高校123名 一般60名

団体

下諏訪向陽C(津端・新村・平林)

豊丘(熊谷・高山・松枝) 飯田風

越B(平澤・南島・牧野)

個人 高校男子

平林和樹(下諏訪向陽) 伊東信司

(伊那弥生) 南島諒輔(飯田風越)

個人 高校女子

上島由都(伊那北) 金子麻希(伊

那弥生) 城取実央(赤穂)

個人 一般

中村美穂(上伊那) 松枝敏広(飯

伊) 杉山滋志(上伊那)

鈴木清重

第2回野辺山洗心弓道大会

4月12日、13日/帝産口ツチ

参加者26名

中村宏(諏訪) 市川隆光(諏訪)

亀岡英司(南佐久) 米山美奈(諏

訪) 前田洋介(県高)

亀岡英司

第66回護国神社例大祭奉納大会

4月29日/護国神社弓道場

参加者 高校122名 一般100名

近の 高校個人

高津香奈絵(松本深志) 斉藤一奈

(穂高商) 吉田美都(松商学園)

青木祥子(松本深志) 松井優太(松

本深志)

近の 一般個人

中村美穂(伊那) 志賀裕之(信大)

片野英明(信大) 矢澤有史(松本)

小林大志(国体A)

近の 高校団体

松本深志A(高津・青木・奥村)

豊科B(大平・六井・三宅) 松商学

園A(百瀬・土屋・吉田)

近の 一般団体

国体A(亀岡・小林・井垣) 信大

A(志賀・日比・平松) 伊那(富永

・中村・柴)

遠の 高校個人

大池真捺(塩尻志学館) 前田洋介

(松本県ヶ丘) 赤岩駿也(塩尻志学館)

遠の 一般個人

寺島信夫(松本) 小林大志(国体)

杉田博(松本)

関澤喜内

第52回北信弓道大会

4月29日/飯山市弓道場

参加者 高校538名 一般61名

中学11名

高校男子団体

長野西C(古澤・植村・山田・山崎

・中島) 長野日大B(倉石・上原・

清水・船田・川口) 須坂A(青木・

中山・伊藤・山・関)

高校女子団体

長野商業C(廣田・高尾・丸田・風

間・原山) 臯月(市村・阿部・立岡

・福原・佐藤) 長野吉田C(込山・

山岸・高橋・小林・竹内)

高校男子個人

の場拓馬(長野高専) 小穴浩史

(屋代) 植村健一郎(長野西)

高校女子個人

田島亜衣(長野南) 佐藤弘奈(臯

月) 原山慶子(長野商業)

中学男子個人

小杉竜二(長野日大) 遠藤融成

(大岡中) 堀内竜太郎(長野日大)

中学女子個人

山井彩乃(長野日大) 吉川優希

(長野日大) 永江有子(長野日大)

一般男子個人

北村栄吉(長野) 林英彦(中高)

麻田順道(小千谷)

一般女子個人

清水和代(飯山) 武田礼子(中高)

宮島さおり(長野)

石田 真

第44回小満祭弓道大会

5月18日/佐久市菅白田稲荷山弓道場

参加者 高校84名 一般62名

一般団体

上田城跡公園(森山・高橋・小林・

宮崎) 混成B(市川・中村・清水・

小山) 上小(高木・戸田・飛知和・

村山)

高校団体

岩村田A(井出・谷津・斉藤・内藤)

佐久長聖D(小平・篠原・柳沢・小林)

岩村田B(井出・掛川・木内・佐塚)

一般個人

宮崎完(上小) 中村宏(諏訪)

市川隆光(諏訪)

射技優秀賞

桜山美沙季(岩村田) 斉藤秀和(岩村

田) 井出陽香(岩村田) 篠原啓晃(佐

久長聖) 森山敏広(上小)

日向 力

第25回無相大師奉賛弓道大会

5月31日/中野市菅弓道場

参加者 45名

一般個人

原 深雪(諏訪) 吉田博之(松本)

亀岡英司(南佐久)

土屋義雄

第51回近県弓道大会

6月1日/上田城跡公園弓道場

参加者 高校生315名 一般57名

高校男子団体

上田東A(大平・西川・宮島) 長

野西A(古澤・中山・荒井) 上田東

E(柳沢・北川・赤羽)

高校女子団体

岩村田D(依田・小林・篠原) 上

田東D(長井・稲崎・龍野) 中野西

A(山本・滝澤・中林)

一般団体

上田A(高橋・宮崎・春原・小林・

森山) 電電丸子(高木・戸田・飛知

和・宮坂・柳沢) 長野大学A(望月

・小池・蓑輪・茂木・為川)

一般個人

宮島さおり 高木涼子 今井誠一

小林博正 内山貴之 内山幸三

第48回近県弓道大会兼西沢盃争奪大会

6月7日/山ノ内弓道場

参加者 31名

池上 武(山ノ内町) 長岡 昌

(上田市) 丸山萬佐巳(安曇野市)

敢闘賞 金メダル山崎利八(長野市)

銀メダル井堀孝雄(長野市) 銅メダル

土屋義雄(中野市)

宮阪和久

第55回全信州弓道大会

6月8日/山ノ内弓道場

参加者 高校75名 一般19名

高校男子団体

長野西(小林・幅下・松澤) 須坂

東B(丹後・勝山・山岸) 松代B

(日下・塚田・安藤)

高校女子団体

長野東A(鶴野・仁科・滝澤) 長

野工業A(清野・伊藤・小林) 須坂

東A(矢野・中村・清水)

一般人

林 英彦(中野市) 池上 武(山

ノ内町) 徳竹光春(中野市)

宮阪和久

第22回木曾義仲拳兵県下弓道大会

6月8日/丸子町澄心館弓道場

参加者 60名

団体の部

東海弓心会(関・森山・中川) 上

田城(高橋・春原・宮崎) 長野大学

A(望月・蓑輪・茂木)

個人の部

戸田裕子 岡田宏之 市川隆光

鷹野良信

松本市弓道場 ■休日/12月29日-翌年1月3日まで ■利用時間/8:30~21:00
 ■松本市中央4丁目7番28号 ■TEL&FAX 36-6834

●1階/射的射場(12人立射)、柔道練習場(他) ●2階/射的射場(6人立射)、稽古室、会議室(他)





松本市弓道場使用料金表

区分	大人(高校生以上)	小人(中学生以下)
1回券	300円	100円
複数券(10回券)	3,000円	1,000円
満席券(年間券)	12,000円	3,000円

講習用料金

区分	入場料を徴収しない場合	入場料を徴収する場合	会議室のみ使用する場合
8:30~10:30	6,000円	500円	500円
10:30~12:30	6,000円	500円	500円
13:00~15:00	6,000円	500円	500円
15:00~17:00	6,000円	500円	500円
17:00~19:00	6,000円	500円	500円
19:00~21:00	6,000円	500円	500円

《施設概要》
 構造形態/鉄骨造一部2階建
 建築面積/1,957㎡
 延床面積/2,140.01㎡

《建設工期》
 平成19年3月13日から平成20年3月14日まで

《総事業費》
 4億2,770万円

《施工業者》
 設計・監理/徳田建設設計事務所
 建築主体/松本土建組
 電気設備工事/国アイネット
 機械設備工事/国ニイカ



投稿してほしいお願ひ

論文・随筆・弓矢にかかわる各地の祭りや神事・歴史などなんでも結構です。

○大会の写真も紙面を生かします。ぜひ傑作がありましたら送ってください。

○提言、ご意見、ご要望もお寄せください。検討のうえ積極的に紙面づくりに反映させていただきます。宛先は各地区選出の広報部員まで

編集後記

さくらの季節も駆け足で過ぎ去り、夏に向かって季節が移りつつありますが、急に真夏のように暑い日があると思うと、北海道や標高の高い所で雪が降つてみたり、体調を崩しやすい寒暖の変化に気をつけていただきたいと思います。

弓道ながの第26号をお届けする運びとなりました。皆様のご協力に心から感謝申し上げます。ますますの紙面充実のため、会員の皆様から様々な記事をお寄せいただけますようお願い致します。

ホームページ開設から丸六年経過し、七回目に入ろうとしています。アクセス件数は九万件に達し、今年中に十万件の大会に到達するものと思われ、あまり変わりばえのない内容と反省しています。ホームページも情報の提供に支えられて更新しております。更に迅速で多量の情報提供をお願いしたいと思えます。なおメールでお寄せいただくことなつれしいことはありません。何卒よろしくお願ひ申し上げます。(飯田秀樹)

事業計画書に誤りがありました。訂正ください。
 役員名簿 理事 山口安彦 電話0265
 (06)3047
 評議員名簿 佐久支部 倉島 裕